

平成26年6月24日
東京大学

SIGN 研究案件に関する本学理事及び医学部附属病院長のコメント

本学において、このような事案が生じたことは、誠に遺憾である。

今後、本学教職員に対して、研究倫理に関する教育研修をより充実させるなど、再びこのような事態が生じないよう、再発防止を徹底する所存です。

東京大学理事（コンプライアンス担当）
菅米地 令（とまべち れい）

この度は、臨床研究「SIGN 研究」につきまして、臨床研究の信頼性を損ねることとなり、ご協力いただいた患者様にご心配とご迷惑をおかけし、改めて、心よりお詫び申し上げます。

SIGN 研究についての第三者委員を含めた特別調査委員会からの報告を真摯に受け止め、今後、臨床研究における倫理や利益相反に関する更なる教育と管理体制の改善等を早急に進めるとともに、より一層透明性を高めた臨床研究の実施に努めて参ります。

東京大学医学部附属病院長
門 脇 孝（かどわき たかし）